

レズビアン、バイセクシュアル女性、トランスジェンダーの人々の暴力の経験が明らかに

「女性に対する暴力をなくす運動」（11月12～25日）にあわせ記者向け学習会を開催します

【日時】2014年11月21日（金）18:30～19:30

【場所】早稲田リーガルコモンズ法律事務所 会議室

（東京都千代田区九段北1-4-5 北の丸ガラスゲート5F（受付4F）

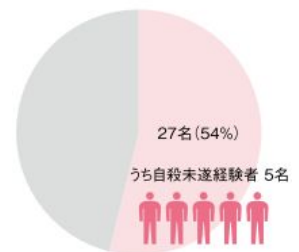
最寄駅 地下鉄九段下駅、飯田橋駅）

内容：「性的指向・性別自認・性別表現を理由としたLBTの暴力の経験に関する調査」調査結果と質疑応答（調査結果には、形態別にみた暴力の経験、暴力の影響と対処法、支援へのアクセスと支援を求めた経験、提言とメッセージ、アジア5か国調査の結果概要等、貴重なデータやインタビューで当事者が実際に語った言葉が収められています）

※準備の都合上、お手数ですが、できるだけ下記へ事前ご連絡の上お越しいただければ幸いです。

LBTの人たちは、性的指向、性別自認、性別表現を理由に、生活のさまざまな場面で日常的に暴力を経験している。50人の当事者のうち、31名（62%）が心理的暴力、14名（28%）が身体的暴力、28名（56%）が性的暴力を経験、暴力に遭った結果として自殺を考えるようになった人は過半数にのぼる。専門家への支援は偏見や無理解の恐れから避けがちで、つながったとして配慮ある支援を受けられるとは限らない。

自殺について考えたことのある回答者



ゲイジャパンニュースでは、NGO「インターナショナル・ゲイ・アンド・レズビアン・ヒューマン・ライツ・コミッション」とマレーシア、スリランカ、フィリピン、パキスタンのグループと共同で、2010年11月から12年3月にかけて、東北、関東、中部、関西、中国、九州の6地域で、22～58歳のLBT50名（トランスジェンダー21名、レズビアン14名、バイ・パンセクシュアル10名、その他5名）を対象に、半構造化インタビューを実施し、その結果を『レズビアン、バイセクシュアル女性、トランスジェンダーの人々からみた暴力—性的指向・性別自認・性別表現を理由とした暴力の経験に関する50人のLBTへのインタビューから』にまとめました。これまで性同一性障害やゲイ・バイセクシュアル男性と健康やLGBTと学校をテーマとした調査は存在したものの、「女性」という性別自認や生物学上の身体を共通項に持つLBTを対象として「暴力」という視点から全国各地で調査が行われたのは国内初です。

ゲイジャパンニュースでは、国内外のセクシュアルマイノリティ団体と連携しながら、調査をいかし、LBTに対する暴力の存在や傾向、その背景を知ってもらうとともに、性的指向・性別自認・性別表現を理由とした暴力や差別からの保護のための施策をまとめ、社会に提言していく予定です。ぜひ、本調査から浮き彫りになったLBTの暴力にご関心をお寄せいただき、記事で取り上げていただければ幸いです。



《ゲイジャパンニュースとは》

世界各国のLGBTI（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランス、インターセックス）の人権に関する無料・非営利ニュースサイトを運営し、性的指向・性別自認と人権について国連への情報提供や政策提言等を行う民間団体。世界1100以上の団体が参加するLGBTIのアンブレラ組織「ILGA」加盟団体。

ホームページ：gayjapannews.com

Eメール：info@gayjapannews.com

お問合せ先：080-1064-4269（山下）